

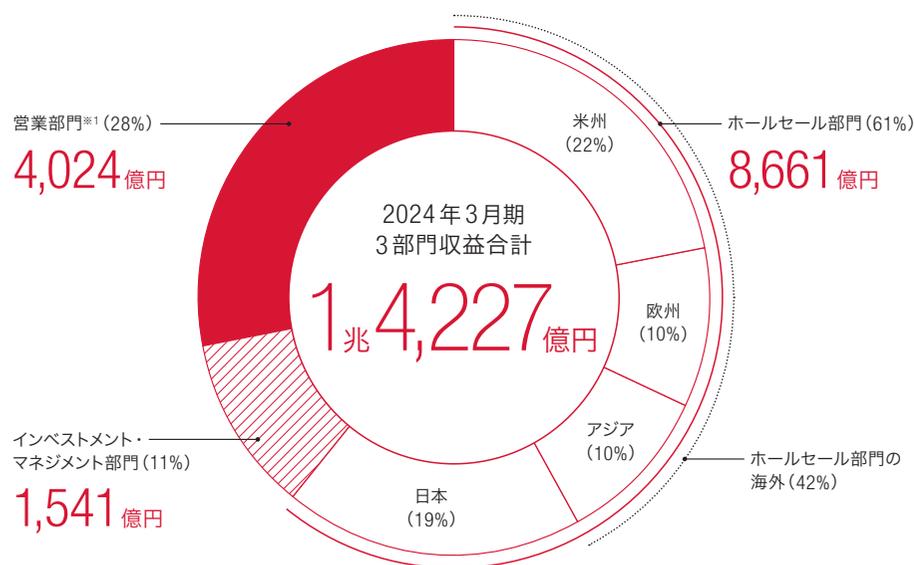
# Nomura Highlights

## 財務ハイライト

2024年3月期は、主要3部門すべてが前年比で増収増益となり、ROEは5.1%に改善しました。

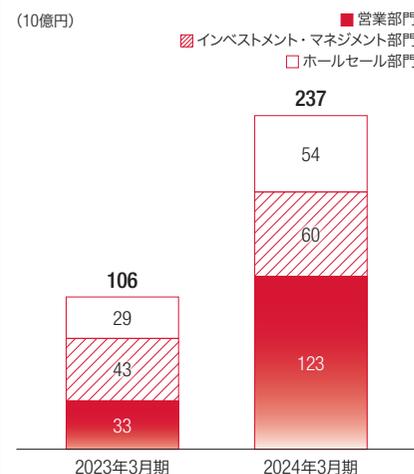
1株当たり年間配当額は23円（配当性向は42%）、また総額1,000億円の自己株式取得も加えた総還元性向は102%となりました。

株価の上昇に伴い、PBRも向上しました。2024年3月末連結普通株等Tier1比率は16.2%と、引き続き強固な財務基盤を維持しています。



### <業績>

#### 主要3部門 税引前当期純利益



#### 当期純利益 ※2 およびROE



### <株主還元>

配当性向

42%

総還元性向

102%

### <財務健全性>

連結普通株等Tier1比率 ※3

16.2%

### <株価等>

株価 (期末)

977.6円

PBR ※4

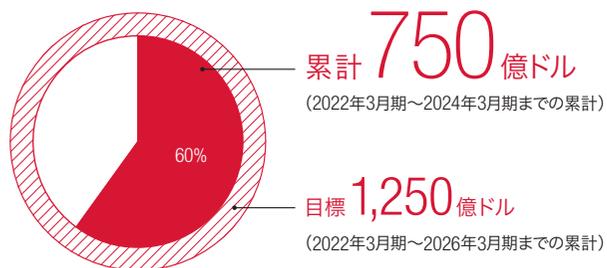
0.81倍

※1 2024年4月に部門名をウェルス・マネジメント部門に変更 ※2 当社株主に帰属する当期純利益 ※3 Tier1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの ※4 期末の株価に基づく値

## サステナビリティハイライト

サステナビリティへの対応が、ますます重要なテーマとなる中、2024年3月期はサステナブル・ファイナンスをはじめとする事業活動においても、また、自社における取り組みにおいても確かな実績を上げることができました。「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスのもと、これらの取り組みをさらに推し進め、持続可能な環境・社会の実現に挑戦していきます。

### サステナブル・ファイナンス関与額



### サステナビリティ関連債券引受実績

〈日本〉 **1** 位 ※1    〈グローバル〉 **9** 位 ※2

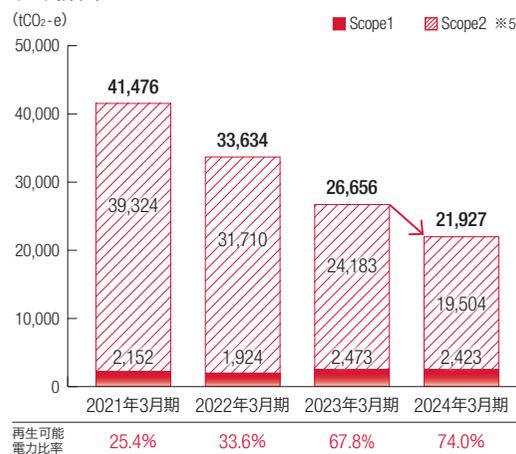
### トランジション債券引受実績 ※3

〈日本〉 **2** 位

### ESG商品ラインアップ販売累積額 ※4

約 **8,000** 億円

### GHG排出量



### 小・中学校／公立図書館への発刊教材寄贈カバー率

**100%**

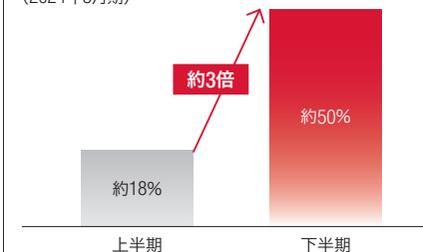
### 従業員向け金融経済教育プログラム受講者 (野村證券)

**4,000** 人超

### グローバルでのキャリア採用

約 **7** 割 (2024年3月期)

### 男性育児休業取得率 ※6 (2024年3月期)



### 女性部店長比率 (野村證券)

**10.2%**

(2024年4月現在)

10%の達成目標を前倒して達成

### 女性管理職比率 (野村證券)

**15.7%**

(2024年3月末)

### 取締役会構成

〈社外取締役〉 **8/12**    〈女性〉 **3/12**    〈外国人〉 **4/12**

※1 出所: Bloomberg。国内におけるICMA準拠の債券引受額 (2023年度)    ※2 出所: Bloomberg, SSAセクターにおけるICMA準拠の債券引受額 (2023年)    ※3 出所: 野村證券。トランジション・ボンドの引受額 (2023年度)    ※4 期間: 2020年4月～2024年3月、日本法域における商品取扱  
 ※5 GHG Protocolに基づくMarket-based手法を用いて算出    ※6 分子を「対象期間中に、同一の子について初めて育児休業を取得した男性社員数」、分母を「対象期間中に配偶者が出産した男性社員数」として算出。分割して育児休業を取得した場合は、最初の育児休業の取得のみを計算対象に含める